



インタビュー
Interview

礼を重んじる少林寺拳法の 魅力を多くの人に伝えたい 輝いている人

輝いている人
紹介動画



横田さんのインタビューや演武の様子を、動画で紹介しています

横田さんが少林寺拳法を始めたのは5歳のとき。家の近くにあった道場で友人たちと一緒に習い始めたのがきっかけだ。最初から楽しく、すぐに夢中になった

将来の夢は教師になることだという。道場で小学生や中学生に指導することもあって、教えることに興味を持ったのがきっかけだ。教師への夢と少林寺拳法を続けていくこと、彼女ならどちらの夢もつかみ取ることができるはずだ。

岡山県高校総体少林寺拳法女子単独演武の部で優勝し、7月に長野県で行われた全国高校総体に出場したのが、総社高校3年生の横田知穂美さんだ。昨年度は中止だったが、一昨年に続き2度目の出場となった。少林寺拳法は護身の拳法で、自ら人を傷つけるのではなく、暴力から身を守るために技を用いる武道。競技会では突きや蹴りなどの技を2人で実践する組演武と1人で行う単独演武がある。横田さんが出場したのは、6個の型を組み合わせた1分程度実技をする単独演武で、今後は組演武でも競技会に参加したいそうだ。

そう。少林寺拳法の魅力について、「礼儀を大切に、礼に始まり、礼に終わる。心も大切にしている」と語ってくれた。やめたいなど思ったこともあったという横田さん。楽しく続けることができたことを聞くと、「小さな目標を決め、1つずつクリアしていくことでモチベーションを保つことができました」と話す。段位が上がるにつれ、以前はできなかった技ができるようになったことも、継続できた理由だそう。

横田 知穂美さん（総社高校3年）

全国高校総体の少林寺拳法競技会に出場

赤米の文化を未来へつなぐ

赤米フェスタ特別動画を配信

赤米の伝統文化を継承するため、コンサート「赤米フェスタ」の特別動画を製作しました。

9月25日に、総社市赤米大使の相川七瀬さんが来総。備中国分寺や本庄・新庄國司神社で歌などの撮影を行いました。

動画は、YouTube (<https://youtu.be/zUi1gnsFEJs>) で公開されています。



YouTube



赤米の稲穂の中で歌う相川さん

地域の防災拠点が完成

昭和地区防災備蓄倉庫

消防署昭和出張所の構内に防災備蓄倉庫が完成しました。中には、水防資器材として救助用ボートや排水用可搬ポンプ、避難所用備蓄品として非常食や飲料水、毛布などを配備しています。

9月22日には市が地元説明会を開催し、昭和地域の代表者に使用方法などを説明しました。

市内では、常盤公園・総社中学校・東公民館阿曾分館にも防災備蓄倉庫が整備されているほか、小学校などにも防災用品を分散備蓄しています。



1

2



3

1・2番倉庫に①の水防資器材、3・4番倉庫に②の避難所用備蓄品が備えてある。③は倉庫の全景

●ミニフォト

井上さん 100歳おめでとう



家族などに祝福される井上さん

9月16日、井上美子さん（稿）が満100歳の誕生日を迎えられ、市から記念品が贈呈されました。趣味は塗り絵という井上さん。長寿の秘訣は、全ての人に対して感謝の気持ちを忘れずに過ごすことだそうです。

大月さん 100歳おめでとう



家族に祝福される大月さん

10月11日、大月賢志さん（日羽）が満100歳の誕生日を迎えられ、13日に市から記念品が贈呈されました。短期大学の保育科で図画工作を教えていたという大月さん。長寿の秘訣は、人とよく話しよく食べることだそうです。

20歳の記念を写真に残す



市民会館のステージで記念撮影

10月2日と3日、令和3年の新成人を対象とした記念撮影スポットを市内4カ所に設置。晴れ着姿の新成人が市役所や市民会館、備中国分寺などを訪れ、大人への一歩を踏み出す瞬間を写真に収めていました。